

第84期報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

株式会社 **チノ**

証券コード：6850

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より当社グループに対する格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。

ここに第84期（2020年3月期）における事業の概況と中期経営3カ年計画の進捗状況についてご報告いたします。

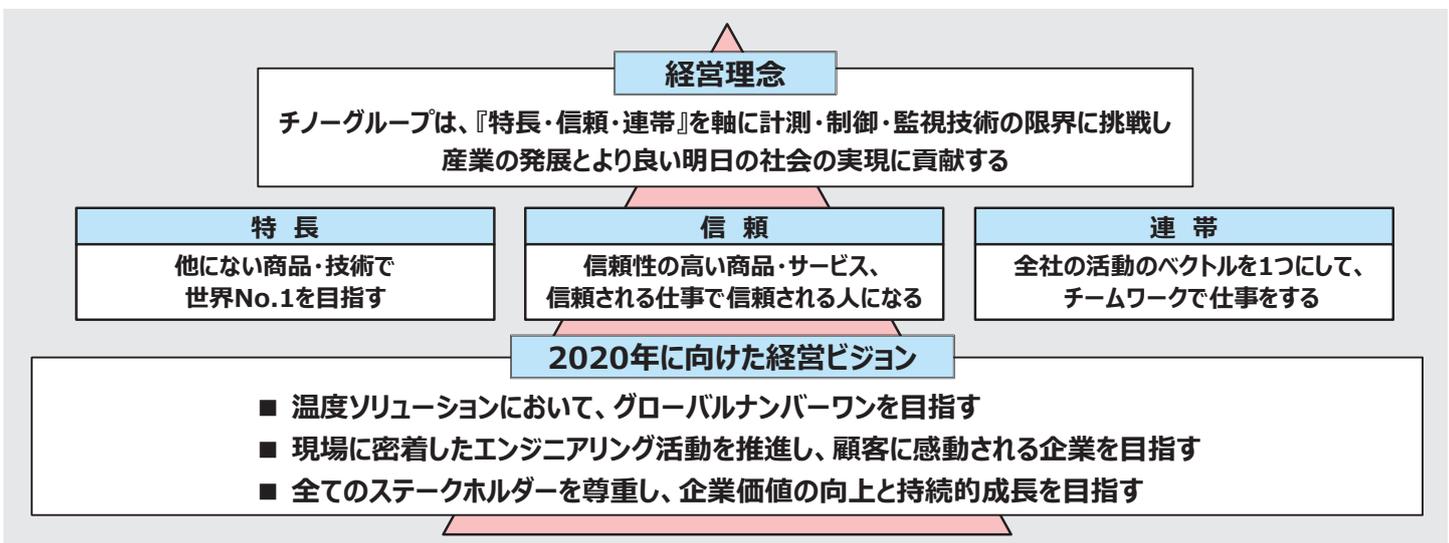
足元の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、直接的・間接的に影響を受けており、世界経済の不透明さが増しておりますが、当社の経営理念である「**特長・信頼・連帯**」のもと、温度ソリューションのグローバルナンバーワン企業となるべく、独自の計測技術の創出に情熱を持って取り組み、産業の発展と持続的な社会の発展に貢献してまいります。

今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 社長執行役員
豊田 三喜男

◆わたしたちが目指す企業像



当期の業績について

当期の世界経済は、米中貿易摩擦の長期化の影響を受け全般的に成長の鈍化が見られ、わが国経済においても、企業収益や個人消費の伸び悩みにより、製造業を中心に設備投資に慎重な姿勢が顕在化しました。

2020年2月以降は、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりを受け、人や物の移動制限、生産・経済活動の停滞により、世界経済の急激な減速が進行しております。

このような環境の中、中期経営計画の2年目にあたる今年度、当社グループは、販売部門特販チーム等が中心となって事業機会拡大のための活動を展開し、特に5GやIoTに向けて動きが進んでいる半導体や電子部品・新素材の市場、製造場所から消費者まで安全・安心を確保するために温度管理が求められる食品・医薬品等の市場、規制に基づき品質管理が厳格な自動車や航空機関連部材の市場などに向けて、製品・システムの開発を積極的に進めました。

また第4四半期は、新型コロナウイルス感染症対策とし

て、体表面温度発熱監視カメラや体表面温度チェッカ等の製品に対する需要が急増し、その増産体制の整備に努めております。

以上の結果、当期の連結業績は、半導体・電子部品関連や自動車関連等の製造業の生産設備向けの需要減速により、受注高は20,628百万円（前期比7.0%減）、売上高は20,582百万円（同6.4%減）となりました。

損益面につきましては、売上高減少の影響等により、営業利益が、1,026百万円（前期比40.3%減）となりましたが、明陽電機株式会社の持分法適用に伴う投資利益574百万円を営業外収益に計上し、経常利益は、1,683百万円（同3.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,218百万円（同9.3%増）となりました。

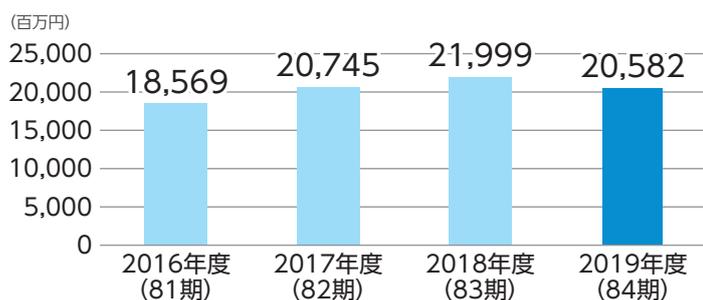
当社グループは、今後も市場ニーズに即応した付加価値の高い製品・システムの開発を強力に進め、持続的成長と企業価値の向上を目指してまいります。

連結財務ハイライト

◆連結財務データ

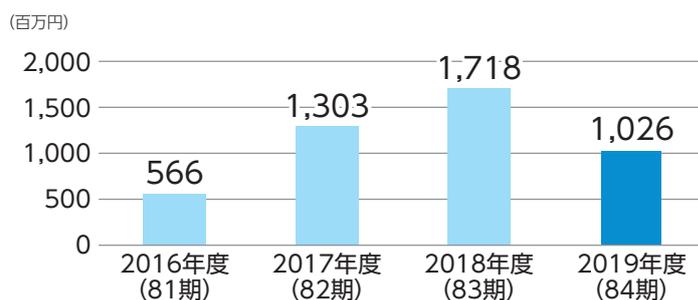
売上高

20,582百万円（前期比 6.4%減）



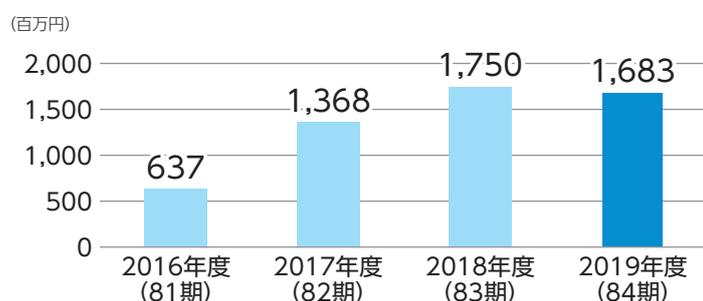
営業利益

1,026百万円（前期比 40.3%減）



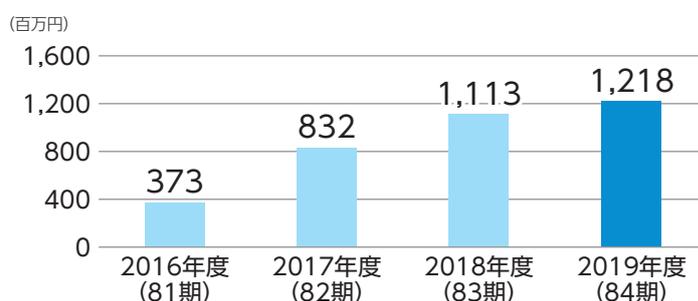
経常利益

1,683百万円（前期比 3.8%減）



親会社株主に帰属する当期純利益

1,218百万円（前期比 9.3%増）



◆セグメント別の業績

① 計測制御機器

売上高 **7,677**百万円
(704百万円減) (前期比 8.4%減)

② 計装システム

売上高 **7,674**百万円
(364百万円減) (前期比 4.5%減)

③ センサ

売上高 **4,352**百万円
(366百万円減) (前期比 7.8%減)

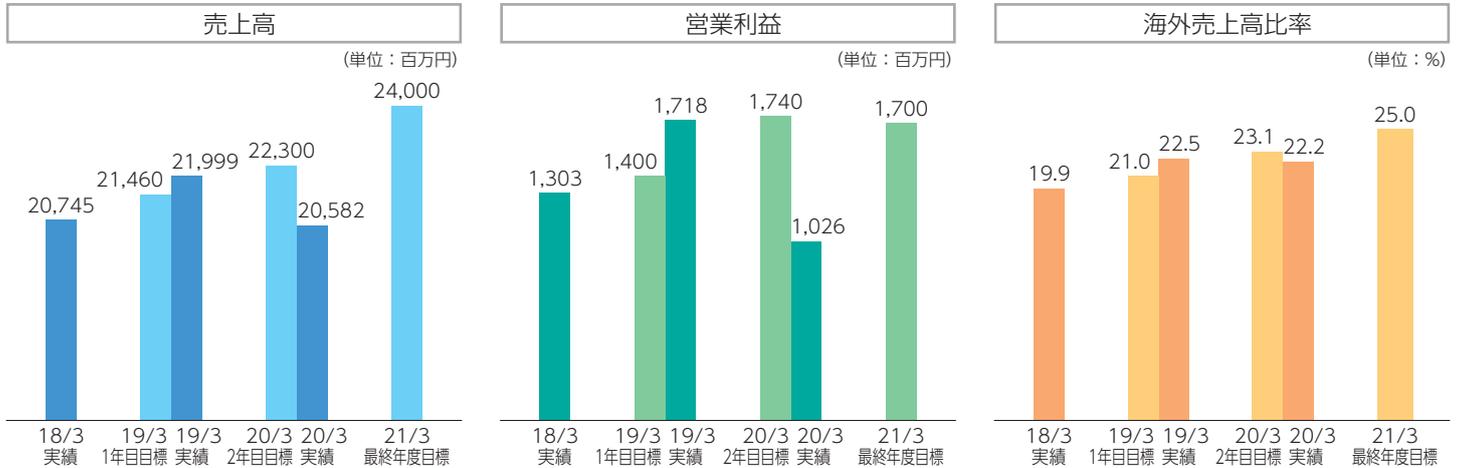
④ その他（修理・サービス等）

売上高 **877**百万円
(17百万円増) (前期比 2.0%増)

中期経営計画の進捗について

当社は、2020年度の業績目標として、売上高240億円・営業利益17億円（営業利益率7.0%）・海外売上高比率25.0%を掲げ、4つの基本戦略の実現に向け取り組んでいます。

◆中計数値目標の進捗状況



◆4つの基本戦略と2019年度の活動状況

新たな成長分野の開拓・拡大

新たな成長分野（半導体・電子部品、二次電池、新素材、航空機／自動車、医療医薬管理等）の開拓に向けて、特長あるソリューションの開発と提供を進める

- 半導体・電子部品：極低温から超高温計測まで各種温度計測・監視ソリューションを幅広く提案
- 二次電池：二次電池の素材から生産工程向け制御機器及び無線温湿度計測システムの提供
- 新素材：新素材高度熱処理用計測・記録システム提案 超高温計測向け2色温度計の提供
- 航空機／自動車：AMS2750・IATF16949の特殊熱処理工程対応の機器開発の促進
- 医療医薬管理：医療分野の温湿度監視需要拡大と医薬品の適正流通ガイドライン対応需要の獲得

既存コア事業の着実な伸展

事業セグメントごとに市場動向とお客ニーズを見極めてミッションを定め、既存コア事業における競争力と収益力を強化する

- ・販売部門特販と連携して成長分野の重点客先への事例水平展開販促を実施 次世代開発情報の収集
- ・月次の代理店出先別会議等を通じたエンドユーザ動向のきめ細かな把握と個別販促手法の具体化
- ・新SFAの導入による顧客管理システムの構築
- ・自動化設備の導入や現場改善による生産効率と収益性および品質の向上

海外事業の徹底強化

現地に根付いた経営体制の整備を進めるとともに、エリアごとの課題とニーズに即した市場開拓と地産地消化を展開する

- 北米：戦略市場・製品の整備と販売体制の強化構築
- 中国：滅菌装置市場、半導体前工程装置市場、新エネルギー市場の開拓の推進
- 韓国：放射温度・成分計市場の開拓強化とグリーン産業分野の計装需要開拓
- インド：新素材産業への放射温度計拡販と日系企業への深耕
- タイ：ISO17025認証取得と校正サービスビジネスの展開

より強固な経営基盤の確立

人財・組織力、ICT、ガバナンスを中心に事業戦略の遂行を支える経営基盤の整備と強化を進める

- ・人事戦略機能の強化（人事企画準備室を新設し、育成プログラムと組織開発の仕組みづくりを推進）
- ・生産管理システムの全社最適化とICTコミュニケーションインフラの整備および情報セキュリティの強化
- ・資本構成の最適化を通じた積極的な設備投資と安定配当の継続
- ・各ステークホルダーの期待と要請を踏まえたCSR重要課題の設定と啓発活動の展開

連結財務情報

◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	2019年 3月末	2020年 3月末	科目	2019年 3月末	2020年 3月末
流動資産	18,899	17,421	流動負債	9,046	7,063
現預金	5,463	4,650	仕入債務	4,670	3,850
売掛債権	7,599	7,327	短期借入金	2,174	1,574
棚卸資産	5,358	4,992	その他	2,201	1,638
その他	479	450	固定負債	2,407	3,326
			長期借入金	440	1,260
固定資産	8,503	9,286	その他	1,967	2,066
有形固定資産	4,573	4,757	純資産	15,948	16,318
無形固定資産	460	327	株主資本	14,675	15,500
投資その他の資産	3,468	4,200	その他の包括利益累計額	307	▲ 123
			非支配株主持分	965	941
資産合計	27,402	26,708	負債純資産合計	27,402	26,708

◆連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2018年度	2019年度
売上高	21,999	20,582
売上総利益	7,179	6,354
営業利益	1,718	1,026
経常利益	1,750	1,683
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,113	1,218

◆連結CF計算書

(単位：百万円)

科目	2018年度	2019年度
営業CF	1,659	1,149
投資CF	▲ 955	▲ 1,523
財務CF	▲ 81	▲ 245

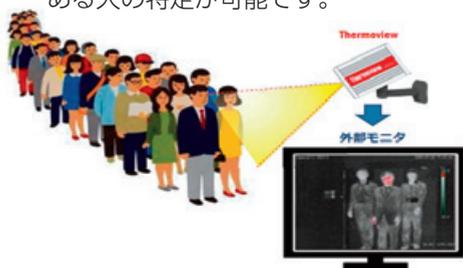
トピックス

新型コロナウイルス感染拡大防止への貢献

～当社の製品が発熱者の早期発見に役立っています～

CPA-L25TV (体表面温度発熱監視カメラ)

不特定多数の中から発熱の疑いがある人の特定が可能です。



TP-U (体表面温度チェッカ)

3秒ですばやく体表面温度を測定。顔を近づけるだけで簡単にセルフチェックできます。



チノービオトープフォレスト (2019年度「全国みどりの工場大賞」経済産業大臣賞を受賞)

当社藤岡事業所が、工場緑化を推進し工場内外の環境向上に努めた功績が顕著なものと認められ、2019年10月に「全国みどりの工場大賞」経済産業大臣賞を受賞しました。

藤岡事業所内には、環境問題に取り組むシンボル、また地域社会とのコミュニケーション拠点として群馬県の山里を再現し、総面積約10,000㎡の「チノービオトープフォレスト」を整備しています。

当社は、企業活動を通じて、新たな環境価値を創造するとともに自然との共生を図り、地球を守り次世代に明るい未来を届けてまいります。



トピックス

■明陽電機株式会社を連結子会社化（2020年4月）

2020年4月に明陽電機株式会社（以下「明陽電機」）の株式を追加取得し（同社の発行済株式総数の議決権所有割合53.58%を保有）、同社は、当社の連結子会社となりました。

明陽電機は1948年設立の船舶エンジン用温度センサおよび各種船舶搭載機器専門メーカーであり、世界9カ国の船用規格を有して事業を展開するとともに防衛用需要を獲得し、安定的な売上と高収益性を確保しております。

明陽電機の子会社化により、ICT化が進む船舶用市場へ当社計測制御機器・センサ全般の拡販を一層強化するとともに、同社が培ってきた高耐震・高温耐久性の技術や高信頼性を陸上の産業分野に活かすことによって当社グループの事業拡大を目指します。

(2020年4月1日現在)

子会社概要

<p>株式会社チノーソフテックス 所在地：群馬県 藤岡市 資本金：30百万円 出資比率：100% 事業内容：ソフトウェア等の制作販売</p>		<p>CHINO Works America Inc. 所在地：アメリカ合衆国カリフォルニア州 ロスアンゼルス市 資本金：500千ドル 出資比率：100% 事業内容：計測制御機器、センサ等の販売</p>	
<p>三基計装株式会社 所在地：埼玉県 久喜市 資本金：35百万円 出資比率：100% 事業内容：産業用最適空気環境装置、植物工場製作と電気計装工事</p>		<p>上海大華一千野儀表有限公司 所在地：中華人民共和国上海市 資本金：11,610千元 出資比率：50% 事業内容：計測制御機器等の販売</p>	
<p>株式会社浅川レンズ製作所 所在地：埼玉県 久喜市 資本金：10百万円 出資比率：100% 事業内容：光学機器の設計、製作ならびに販売</p>		<p>千野測控設備（昆山）有限公司 所在地：中華人民共和国江蘇省昆山市 資本金：13,242千元 出資比率：80% 事業内容：計測制御機器、計装システムの製造販売</p>	
<p>アーズ株式会社 所在地：神奈川県 横浜市 資本金：68百万円 出資比率：81% 事業内容：センサネットワーク製品開発、販売、各種IP開発</p>		<p>韓国チノー株式会社 所在地：大韓民国京畿道華城市 資本金：600,000千ウォン 出資比率：50% 事業内容：計装システム、放射温度計、計測制御機器の製造販売</p>	
<p>アドバンス理工株式会社 所在地：神奈川県 横浜市 資本金：310百万円 出資比率：100% 事業内容：熱分析・熱物性測定機器、赤外線加熱関連機器等の製造販売</p>		<p>CHINO Corporation India Private Limited 所在地：インド共和国ナビムンバイ市 資本金：125,818千ルピー 出資比率：100% 事業内容：計測制御機器等の製造販売</p>	
<p>明陽電機株式会社 所在地：静岡県 静岡市 資本金：45百万円 出資比率：53.58% 事業内容：船舶エンジン用温度センサ、各種船舶搭載機器等の設計、製造、販売</p>		<p>CHINO Corporation (Thailand) Limited 所在地：タイ王国バンコク都 資本金：7,000千バーツ 出資比率：49% 事業内容：計測制御機器、センサ等の販売</p>	

